

学習支援センターニューズレター

第6号

発行：平成29年9月1日 埼玉工業大学学習支援センター運営委員会

第6号 目次

巻頭言『アリとキリギリス』の寓話に学ぶ	… 1
授業理解支援セミナーのご案内	… 2
学習支援センター利用者数	… 4
学習支援センターのご案内	… 5

巻頭言

『アリとキリギリス』の寓話に学ぶ



学習支援センター長 小西 克享

「アリとキリギリス」の話は誰もが知っているイソップ^{ぐうむ}寓話です。子供向けの絵本では、「アリは夏の間せつせと働き、冬に備えて巣穴に食料を蓄えたのに、キリギリスは遊びほうけていたため冬になると食べ物に困ってしまいます。キリギリスはアリに懇願して、食料を分けてもらうこととなりますが、お礼としてバイオリンを弾いてあげます。めでたしめでたし。」というストーリーになっています。

ところが、原作ではキリギリスはアリから食料を分けてもらうことができずに飢死してしまうそうです。子供への教育的配慮から、残酷な結末が脚色されることは童話・寓話の世界ではよくみられるようですが、結末を勝手に変えてしまったのでは、原作者が話に込めた教訓は正しく伝わらないばかりか、誤解すら生んでしまう恐れがあります。

脚色されたアリとキリギリスの話の場合、どんなに手抜きをしても最後に押し倒せば何とかしてもらえ（勉強に置き換えればサボっても単位がもらえる）と読者に間違った観念を与えはしないでしょうか。これでは『甘えの精神』を植え付けることになりかねません。むしろ、サボれば報いを受けるという残酷な結末の方が、教訓としては意味が大きいかも知れません。

『宵越しの金は持たない』という言葉がありますが、江戸の庶民はそもそも収入が少ないためその日暮らしの生活をしていたのであり、貯蓄に回す余裕などなかったのではないのでしょうか。さらに食べ物が足りなければ互いに助けあうという互助の精神があり何とか生活が成り立つ時代だったのだと思います。しかし今は勝手に違います。もしも現代において貯金もなく一文無しの状態なら、何が起こるか容易に想像できるはずですが。

人生において、蓄えをしていくことは実に重要と言えます。蓄えとは何も金銭のみを指しているのではなく、知識、技能、教養など人間の内面的な面も含めてのことです。大学では学生は面倒な科目や難しい科目を避ける傾向があります。楽に単位の取れる科目には学生が集まるものの、レポート課題が多い科目、内容が難しい科目、厳しい先生の科目などはどん

なに重要な科目であっても極端に学生が集まらないことがあります。ひょっとすると重要性に気が付いていないのかも知れません。

以前の大学では1年間に履修できる単位数には制限がありませんでしたが、現在では(本学では平成12年度から)上限が設けられています。制限がなかった頃は、卒業時に150単位を修得する学生はざらでしたが、現在はわずかであり、大半が卒業要件の124単位+ α 程度です。履修する科目数が減った分しっかり勉強してもらえれば本来の趣旨に叶うのですが、実際のところはどうか。

勉学が疎かとなれば、将来に向けての知の財産は形成されません。頭脳を駆使するという訓練が不十分なまま卒業して社会人となってしまいます。そうすると、大学で難しい科目の履修を避けたように、困難な課題(仕事)は避けて通らざるを得なくなります。勉強は忍耐を必要とし、時に苦痛すら感じるものです。一方で、誘惑は世の中に満ち溢れています。誘惑に打ち勝てないでいるとやがてキリギリス化していくことになります。脚色された寓話のキリギリスはバイオリンが弾けた(少なくとも夏にバイオリンを弾く努力はしていた)から、食料を得るための対価を支払えましたが、何も支払うべきものがなければどうすればよいのでしょうか?将来誰もが困難に直面する可能性は否定できません。そのことに気が付き、現状から脱却を図ることが、蓄えることを怠らないアリに変身する近道です。現代社会で何の蓄えもない状態がどれほど恐ろしいことか、一度考えてみることをお勧めします。

学習支援センターでは、学生とチューターが1対1もしくは少人数で、あたかも家庭教師に接するような感覚で分からないことを質問したり、解説を聞いたりすることができます。学習上の様々な問題に悩んでいる方は、是非一度相談に来てください。

授業理解支援セミナーのご案内

学習支援センターでは1年を通して、授業理解支援セミナーを実施しています。平成29年度後期実施予定の内容は下記のとおりです。詳細なスケジュールは、学習支援センターの掲示物もしくはホームページ<https://www.sit.ac.jp/lsc/>で確認をお願いします。

1. 英語(後期)

セミナーの紹介

基礎的な英文法によるさまざまな日常表現を学ぶ講座です。英語が苦手な人、基礎的なことをもう少し学習したい人など歓迎です。9月19日(火)(16:50~18:00)から始めます。センテンスパターンをもとにして対話表現を身につけましょう。

内容

前期に12のパターンを学習しました。後期はその続きです。後期の1回目は、「依頼」を表す表現、2回目は「第四文型」を使った日常表現のように12回実施する予定です。基本的な文法事項も含めた表現の学習ですから、今後、英文を読むうえでも役立つと思います。各回のテーマは独立していますので後期だけ参加でも支障ありません。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



専任チューター
(英語) 石川孝雄

2. 数学(後期)

セミナーの紹介

数学(後期)のセミナーは、「積分法」と「数と式」の2講座です。いずれも「速修コー

ス」と「充実コース」の2コースがあります。速修コースは要点の確認が主な内容で、1回で終了します。充実コースは12回の開催で、演習も含めてしっかり学習します。

「積分法」セミナーについて

- ・前期の「微分法」に引き続いて、高校の「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」から「積分法」の部分をまとめて解説と問題演習を行います。
- ・学習項目は、不定積分の基本的な性質、不定積分の置換積分法・部分積分法、定積分の基本的な性質、定積分の置換積分法・部分積分法、区分求積法、面積、体積、曲線の長さなどです。
- ・高校の「微分積分」が未履修だった学生や再確認したい学生はぜひ参加してください。



専任チューター
(数学) 五十嵐正晴

「数と式」セミナーについて

- ・高校数学の中から「整数の性質」、「多項式の性質」、「複素数の演算」、「複素数平面」などの内容をまとめて解説と問題演習を行います。
- ・学習項目は、整数の約数と倍数、最大公約数と最小公倍数、合同式、ユークリッドの互除法、不定方程式、 p 進法、多項式の剰余の定理・因数定理、複素数平面、複素数の極形式、ド・モアブルの定理、複素数平面上の図形などです。
- ・本学第2学年で学習する科目に接続する内容です。「整数と多項式」、「複素数」の一方のみの受講も可能です。

3. 物理（後期）

セミナーの紹介

皆さんの大学における授業理解の支援のために、物理セミナーを開催しています。高校で「物理基礎」、「物理」を学習していない学生、または、学習したけれど不安のある学生は、ぜひ参加することを奨めます。後期は全14回実施し、解説と問題練習を行います。内容は以下の項目です。



専任チューター
(物理) 杉山 崇

内 容

- 1 前期の補足（復習も含む）
 - ・平面上の落体の運動
 - ・反発係数（はね返り係数）
 - ・摩擦や空気の抵抗を受ける物体の運動など
- 2 剛体にはたらく力、剛体の運動
- 3 熱力学

セミナーの案内を別に配付しますが、誰でも遠慮なく参加してください。

4. 化学（後期）

セミナーの紹介

前期セミナーの復習(主として計算演習)を4回程度実施します。その後、化学平衡、有機化合物について学習していきます。前期からの継続の受講が望ましいですが、履修科目の関係で前期に受講できなかった者も対象とします。高校で「化学基礎」、「化学」等を履修していない学生、または、履修内容の理解が不十分な学生は、ぜひ参加することを奨めます。



専任チューター
(化学) 高橋 丘

内 容（講義内容は予定であり、受講者の状況に応じて変更する場合があります。）

前期復習 物質質量 化学反応と量的関係 中和滴定

	pH 希薄溶液の性質
	酸化・還元 電気分解 熱化学方程式 結合エネルギー
物質の変化と平衡	反応速度 活性化エネルギー 化学平衡 平衡の移動
	平衡定数(圧平衡定数 溶解度積 電離定数 加水分解定数等)
有機化合物	脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物 芳香族化合物

5. 電気技術（後期）

電気電子情報専攻が始まり、電気教科が多くとり入れられています。電気は多くの法則、現象、定理などを扱い、理論、電力、機械、法規など広範囲に渡り学習をしないでならない教科です。その電気関係の導入として、電気工事士や電験の資格が挙げられています。これらの資格への学習を通して基本的に、且つ全般的に電気に関する理解が得られると思います。電気工事士は国家資格の中では稀な技能試験があり、知識、技能共に問われる資格であり、筆記、実技と両方を勉強しなくてはなりません。ある程度の長い期間の取り組みが必要で



専任チューター
(電気) 藤田岩夫

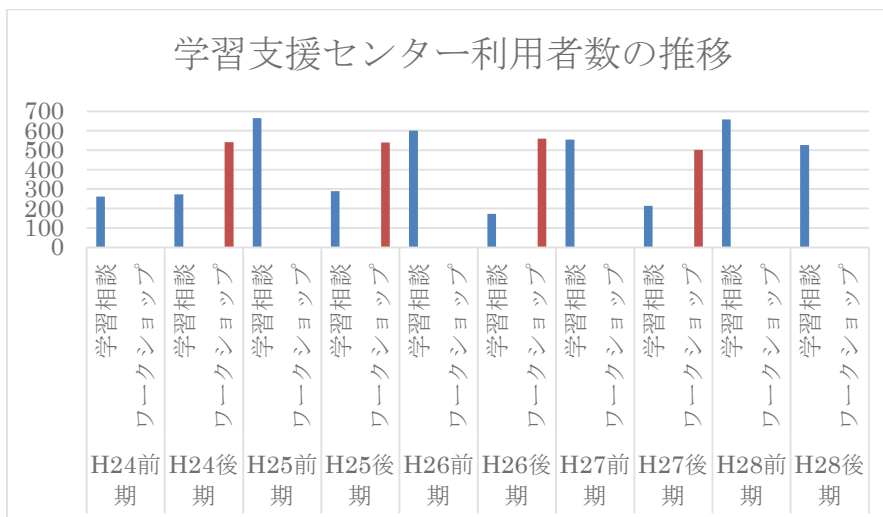
す。電験は4教科の試験になり、長期にわたり計画的な学習が必要になります。電気施設の維持管理、設備、工事等の仕事では必ず必要になりますので、在学中に取得することも考えてください。また、これらの資格は他の資格への第1歩でもあり、この資格から次への資格へ進んでいって欲しいと思います。後期も前期と同様に授業と併せながら、電気関係の学習と資格に取り組んでいきたいと思っています。

内容

- ・ 第1種、第2種電気工事士試験補講（10月、12月試験、受験者対象）
- ・ 来期の電験、電気工事士受験の為の電気基礎

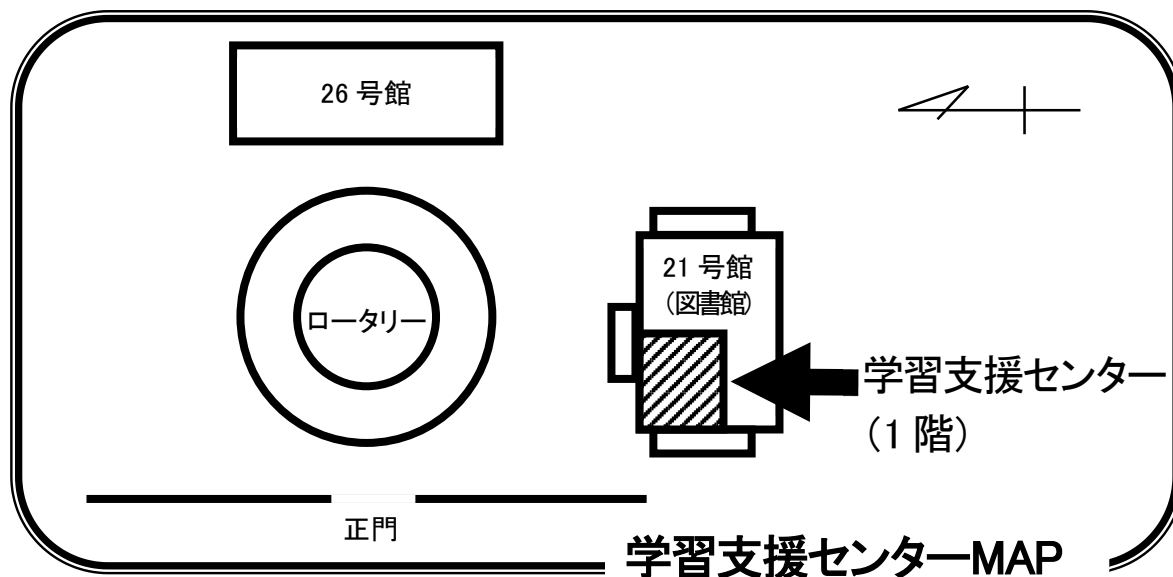
学習支援センター利用者数

学習支援センターは平成24年度に旧学習相談室を改組して誕生して以来、学習相談（授業理解支援セミナーを含む）、ワークショップなどを実施しています。平成24年度から平成28年度までの利用者数（延べ人数）は年平均で在学生の6割に当たる1271名になっています。



学習支援センターのご案内

- 学習支援センターは 21 号館（図書館のある建物です）の 1 階にあります。図書館を入ると、右側すぐのところです。
- 利用時間は、専任チューターが（10:30-18:30）、各学科担当教員が昼休み（12:40-13:15、12:45-13:20）および夕方（16:50-17:50）となっています。



- 予約は不要です。下記 URL 記載の担当表を参考にして質問したい先生を気軽に訪ねてください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/information/index.html>

- もちろん、支援センターにいる先生の専門に関係なく利用できます。
- 誰に相談したらよいかわからないときは、どの時間でもかまいませんので、来室して相談してください。適切な先生を紹介します。
- TA の時間には、コンピューターの操作やプログラミングについて相談できます。
- 授業の復習の相談場所、あるいはちょっと便利な自習室として、学習支援センターを利用してください。
- 学習支援センターは、前期および後期の授業期間に開室します。



学習支援センターの利用方法や活動内容について、詳細は学習支援センターの web サイトをご覧ください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/index.html>

学習支援センターニュースレターのバックナンバーは、下記 URL で閲覧可能です。ぜひご覧ください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/newsletter/index.html>

